

[江東特産園芸作物における導入，育成品種の維持，特性調査]

シントリ品種および近縁種の周年栽培における特性

野呂孝史
(江戸川分場)

[要 約] 春・夏季栽培では節間伸長などの不良株が生じ，不安定である。また実用性が高い品種は，より安定した生育ぞろいが望まれる‘ちりめん白菜（日本農林社）’および葉色は淡いが生育が良くそろい，不良株の少ない‘ちりめん白菜（トーホク）’である。

[目 的]

シントリは唐菜とも呼ばれ，その形状，来歴から“長崎白菜群”と考えられる。江東地域では古くから栽培されているが，生産が減少するとともに採種，販売が中止され，品種数も少なくなった。そこで周年栽培における特性を明らかにし，品種選定の一資料とする。

[方 法]

‘しんとり（後関）’他 10 品種を 1 月 16 日，4 月 11 日，7 月 14 日および 10 月 23 日，パイプハウスに播種した。100 cm ベット条間 20cm の 5 条，10cm 株間とした。施肥量は 10a あたり 3 要素成分量で 1 月播種は 10 kg，4 月および 7 月播種は 5 kg，10 月播種は 8 kg で行った。なお各播種期の収穫調査前日に生産者との検討会を実施した。

[成果の概要]

- 1) 各播種期の生育：① 1 月および 10 月播種；安定した生育であり，各品種の特性も明らかであった。② 4 月播種；葉数は 1 月播種より少なく，葉色も淡い。節間伸長株（収穫時期を過ぎた株），株元のしまり不良株が品種によって発生した。③ 7 月播種；遮光，かん水などの栽培管理が必要。収穫期後半に節間伸長株，株元のしまり不良株さらに心葉の褐変（収穫期直前から）を生じる品種もみられた。
- 2) 主な品種の特性：① ‘しんとり（後関）’；葉形・葉色・草姿の異なる株（異形株）が認められる。生育はやや早い。葉形，葉色，葉面の縮みは縮緬白菜と長崎白菜の中間。② 縮緬白菜：‘ちりめん白菜（日本農林社）’は異形株もなく，収穫期間の節間伸長もみられない。株元のしまりも比較的良好。‘縮緬白菜（日東農産）’，縮緬白菜（タカヤマシード）は異形株が認められたが，生育は旺盛で，収量性は高い。高温期は節間伸長株，株張り不良株がやや多い。‘ちりめん白菜（トーホク）’には異形株はなく，そろいも良好。生育は緩慢であるが，葉数は多く，節間伸長もなく，また株元のしまりも比較的良好。しかし葉色が最も淡く，特に高温期には顕著。③ 長崎白菜：縮緬白菜と比べ，葉形はやや長く，葉色は濃色。葉数は少ないが収量性は高い。収穫期間後半の株元のしまりはやや乱れ，高温期の節間伸長もやや多いが，心葉の褐変はみられない。‘長崎白菜（トーホク）’の形状，生育のそろいは良好。
- 3) 以上から，春・夏季栽培では節間伸長などの不良株が生じることから，栽培管理などの検討が必要である。品種では，より安定した生育ぞろいが望まれる‘ちりめん白菜（日本農林社）’および葉色は淡いが生育ぞろい・形状が優れ，不良株の少ない‘ちりめん白菜（トーホク）’が実用性高いと考えられる。

表1. 各播種期の最大葉長

品種名	1月	4月	7月	10月
	cm	cm	cm	cm
しんとり (後関)	28.2	38.5	31.1	33.8
ちりめん白菜 (日本農林)	27.1	34.0	27.8	31.0
縮緬白菜 (日東)	31.7	34.4	28.9	32.4
縮緬白菜 (タカヤマ)	28.8	35.0	28.7	31.4
ちりめん白菜 (トーホク)	27.8	32.3	23.5	28.9
長崎白菜 (タカヤマ)	32.4	34.9	27.5	33.2
長崎白菜 (トーホク)	30.9	34.7	27.5	32.2
彦島白菜 (タカヤマ)	19.5	24.9	17.3	—
てごろ菜 (武蔵野)	24.0	29.9	—	—
大原女 (丸種)	27.8	30.9	—	—

収穫調査：3月14日 (播種後57日)，5月18日 (同37日)
8月10日 (同27日)，12月7日 (同46日)

表3. 各播種期の地上部重

品種名	1月	4月	7月	10月
	g	g	g	g
しんとり (後関)	100	133	63	96
ちりめん白菜 (日本農林)	116	127	62	115
縮緬白菜 (日東)	150	123	56	95
縮緬白菜 (タカヤマ)	141	153	63	96
ちりめん白菜 (トーホク)	135	132	48	95
長崎白菜 (タカヤマ)	122	142	54	95
長崎白菜 (トーホク)	130	145	53	108
彦島白菜 (タカヤマ)	64	80	23	—
てごろ菜 (武蔵野)	127	184	—	—
大原女 (丸種)	164	172	—	—

表2. 各播種期の展開葉数

品種名	1月	4月	7月	10月
	葉	葉	葉	葉
しんとり	10.0	9.1	8.8	7.7
ちりめん白菜	10.2	9.3	8.7	9.2
縮緬白菜	10.7	9.1	8.1	7.9
縮緬白菜	10.9	9.4	8.1	8.2
ちりめん白菜	11.5	10.0	9.0	8.9
長崎白菜	8.9	8.4	7.7	7.5
長崎白菜	10.1	8.7	7.7	7.4
彦島白菜	9.7	8.2	6.0	—
てごろ菜	10.4	9.1	—	—
大原女	9.8	10.3	—	—

表4. 各播種期の葉色 (葉緑素計値)

品種名	1月	4月	7月	10月
	しんとり	27.2	23.3	23.4
ちりめん白菜	23.6	19.4	21.7	17.3
縮緬白菜	19.5	21.1	21.5	17.0
縮緬白菜	23.2	19.8	23.5	17.6
ちりめん白菜	22.5	17.3	18.3	17.7
長崎白菜	27.0	22.7	25.5	22.7
長崎白菜	28.0	27.5	27.2	26.5
彦島白菜	49.8	41.8	40.2	—
てごろ菜	36.9	34.7	—	—
大原女	33.9	34.4	—	—

表5. 各品種の外観特性

品種名	1月および10月播種における調査			4月および7月播種における調査		
	形状の揃い	葉形	葉面の縮れ	株元のしまり	節間伸長	芯部葉縁の褐変
しんとり (後関)	やや不良	やや長卵形	中	中 (一部不良)	一部有り	一部有り (7月播種)
東京とうな (トキタ)	(発芽不良、異形株混入、生育不ぞろい)					
ちりめん白菜 (日本農林)	良好	卵形	多	良好	無し	一部有り (7月播種)
縮緬白菜 (日東)	やや不良	卵形	やや多	中 (一部不良)	一部有り	一部有り (7月播種)
縮緬白菜 (タカヤマ)	やや不良	やや丸形	やや多	中 (一部不良)	一部有り	無し
ちりめん白菜 (トーホク)	良好	卵形	やや多	良好	無し	一部有り (7月播種)
長崎白菜 (タカヤマ)	やや不良	長卵形	やや少	中	有り	無し
長崎白菜 (トーホク)	良好	長卵形	中	中	一部有り	無し
彦島白菜 (タカヤマ)	良好	卵形	中	やや不良	無し	無し
てごろ菜 (武蔵野)	良好	卵形	極少	良好	無し	無し
大原女 (丸種)	良好	卵形	少 (毛じ)	良好	無し	無し